



英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験  
の活用促進に関する連絡協議会(第2回) 資料

# The TOEFL iBT® Test

国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部  
TOEFL事業部 根本 斉  
平成27年3月17日

## 本日の構成

### TOEFL iBT®

- 概要/構成
- 複合技能型問題例
- 採点と評価
- 出題意図
- CEFRとの相関
- 受験者の評価、フィードバックとCEFRのレベル
- 学習指導要領及び取組方法に関して
- 取組事例に関して
- 団体割引・団体受験に関して
- 他試験との相関性
- 今後に向けて

# TOEFL iBT®概要

- 大学・大学院において英語を使って学ぶ際に必要となる英語力を測定
- 1964年開始以来3,000万人以上が受験、世界で最も実績のあるアカデミックテスト
- 現在全世界130か国で9,000以上の機関がスコアを利用
- ペーパー版/PBT(1964～)→コンピューター版/CBT(1998～2006)  
現在はインターネットで問題を配信するiBT(2005年～)へ進化
- 日本におけるCBT実施以降のTOEFL受験者は100万人超  
(CBT形式の英語試験として最も大きな受験実績)
- 年間の開催は40回以上(2014年 42回) 日本国内の試験会場80か所以上
- 運営はCBT試験実施実績最大手のプロメトリック株式会社(ETSの子会社)
- 受験料金 US\$230.00 / 受験申込は空席があれば前日まで可能
- 4セクション構成(4技能が等しく配点)
- 出題内容は全て学業に関する、もしくは学校内で起こりうるような状況を想定した問題で構成され、日本を含む世界中の大学・大学院入学で利用
- 研究に裏付けられた公正で妥当性の高い問題開発  
(10以上のプロセスを経て、問題の作成から運用まで6～18か月)

Copyright © 2014 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo and TOEFL are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS). 26777

3

# TOEFL iBT®構成

セクション	問題数	時間	スコア
リーディング	3または4つの大問	60分もしくは80分	0 - 30
リスニング	2または3つの会話形式の問題 4または6つの講義形式の問題	60分もしくは90分	0 - 30
休憩	(休憩は必須)	10分	—
スピーキング	意見を問う問題 2題 複合技能形式問題 4題	20分	0 - 30
ライティング	複合技能形式問題1題 意見を問う問題1題	50分	0 - 30
トータル		約4時間	0 - 120

- リーディング&リスニングセクションは問題作成検証用の採点されない問題を含む  
(試験当日は、リーディングか、あるいは、リスニングのいずれかに検証用の問題が出題される)
- スピーキング&ライティングセクションでは複合技能形式の問題を取り入れる

Copyright © 2014 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo and TOEFL are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS). 26777

4

# TOEFL iBT® 複合技能型問題例

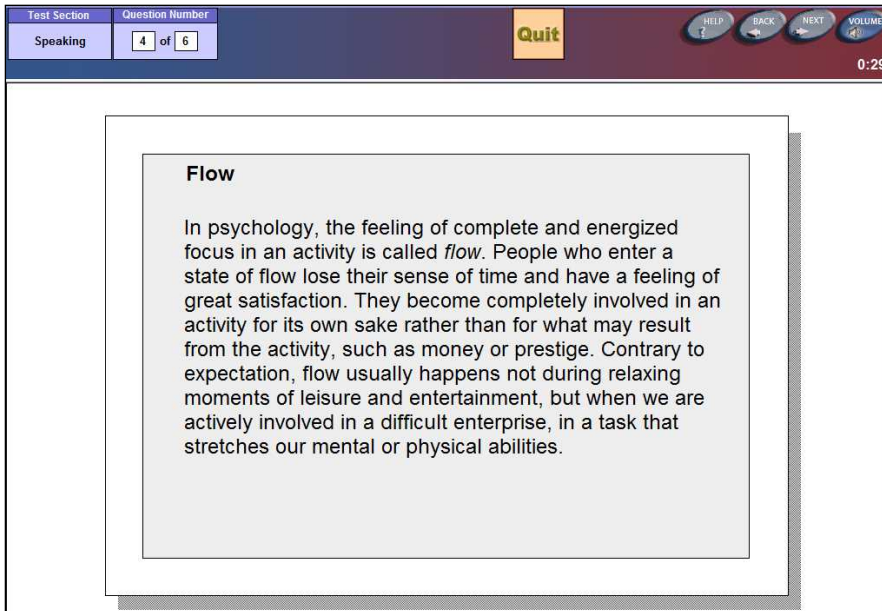
スピーキングセクションにおける問題#4の例題

＜心理学におけるフローとは＞

※講義に関する文章を読み→同じ内容に関するレクチャーを聞き  
→質問に答える(準備時間30秒、解答時間60秒)

※文章を読む、聞く際にはメモを取ることが必要

・以下のテキストを45秒で読みます



The screenshot shows a software interface for a TOEFL iBT practice test. At the top, it displays 'Test Section: Speaking' and 'Question Number: 4 of 6'. There are navigation buttons for 'HELP', 'BACK', 'NEXT', and 'VOLUME'. A 'Quit' button is also visible. The main content area shows a text passage titled 'Flow'.

**Flow**

In psychology, the feeling of complete and energized focus in an activity is called *flow*. People who enter a state of flow lose their sense of time and have a feeling of great satisfaction. They become completely involved in an activity for its own sake rather than for what may result from the activity, such as money or prestige. Contrary to expectation, flow usually happens not during relaxing moments of leisure and entertainment, but when we are actively involved in a difficult enterprise, in a task that stretches our mental or physical abilities.

## Flow(フロー)

『心理学では、ある事をしている時に、完全にそれに没頭し、精神的に集中している感覚のことをフローとよびます。フローの状態に入ると、人は時間の感覚を失い、大きな満足感を覚えます。その活動の結果生じるお金や名声といったものよりも、その活動自体にすっきりと没頭してしまうのです。意外にも、フローは通常、レジャーやエンターテインメントでリラックスした時に起こるのではなく、知能や身体能力を最大限引き出す必要がある、難しい仕事に従事している時に起こります。』

# TOEFL iBT® 複合技能型問題例

・テキストを読んだ後、トピックに関する講義の内容が流れます



The screenshot shows a software interface for a TOEFL iBT practice test. At the top, it displays 'Test Section: Speaking' and 'Question Number: 4 of 6'. There are navigation buttons for 'HELP', 'BACK', 'NEXT', and 'VOLUME'. A 'Quit' button is also visible. The main content area shows a video of a male professor in a classroom, leaning over a desk and looking at a book.

『これから話すことは皆さんのテキストブックに書かれていることを理解する手助けになると思います。私には物理学部で教えていたジョーンズ教授という友人がいて、彼は昨年定年退職したのですが・・・とにかく、覚えているのは・・・これは2,3年前のことですが、ある朝早く教室を通り過ぎた時に、ちょうど彼が帰ろうとしているところだったのですが、彼はひどく疲れているようにみえました。洋服はしわくちゃで、一晩中寝ていないといった様子だったので、私は彼に大丈夫かと尋ねました。すると彼はこれほど気分のいいことはない、ものすごく幸せだと答えたので大変驚きました。彼は教室に一晩中いて数学の難題に取り組んでいたのです。夕飯も食わず、眠ることもなく、休憩すら取らずに、です。その難題を解くことに夢中になっていたのです。これは彼が教えていることや研究内容とは全く関係がありません。恐らくこの問題が偶然数学のジャーナルに載っていて、すごく彼の興味を引いたのでしょう。だから時間が経つのも忘れて方程式や数字を黒板いっぱい埋め尽くして、一晩中がむしゃらに取り組んだのです。』

**(Male professor)** I think this will help you get a picture of what your textbook is describing. I had a friend who taught in the physics department, Professor Jones, he retired last year. . . Anyway, I remember . . . this was a few years ago . . . I remember passing by a classroom early one morning just as he was leaving, and he looked terrible: his clothes were all rumpled, and he looked like he hadn't slept all night. And I asked if he was OK. I was surprised when he said that he never felt better, that he was totally happy. He had spent the entire night in the classroom working on a mathematics puzzle. He didn't stop to eat dinner; he didn't stop to sleep . . . or even rest. He was that involved in solving the puzzle. And it didn't even have anything to do with his teaching or research; he had just come across this puzzle accidentally, I think in a mathematics journal, and it just really interested him, so he worked furiously all night and covered the blackboards in the classroom with equations and numbers and never realized that time was passing by.

# TOEFL iBT® 複合技能型問題例

- ・講義を聞いた後、問題が表示されます。この問題では、30秒で準備し、60秒で解答します。
- ・解答はヘッドセットについたマイクに吹き込みます。



Explain *flow* and how the example used by the professor illustrates the concept.

**Preparation Time: 30 seconds**  
**Record Time: 60 seconds**

設問  
『フローについて説明しなさい。  
そしてその概念を説明するために、  
教授はどのような例を使ったか説  
明しなさい』



# TOEFL iBT® 採点と評価

## インプット(読む・聞く)

リーディングとリスニングの評価

- コンピューター採点

## アウトプット(話す・書く)

スピーキングとライティングの評価

- スピーキング: 3名~6名のRater(採点者)により評価
  - ライティング: Rater(採点者)と自動採点システムの組み合わせにより評価
- Rater (採点者)
- 申込→トレーニング→試験→認定評価者として採用
  - 採点日ごとに事前確認テストを受け採点 テストにパスしないと採点不可
  - 上級評価者が常にモニター・評価分析
  - 面接形式ではないため、受験者の印象に左右されないフェアな評価

## スピーキングとライティングの採点基準(Rubric)

TOEFL iBTでは、スピーキング及びライティングの採点基準を公表



# TOEFL iBT® 出題意図

- 実際の学びの場で成功するための英語能力を測るためにデザインされたテスト  
(アメリカ10大学における調査で、入学後の成績上位者とTOEFL iBTの高得点者は比較的相関が高いという調査結果)
- 問題内容は全て学業に関する、もしくは学校内で起こりうるような状況を想定した問題で構成・目的は英語力の測定であるが、様々な題材が取り上げられている。

・学業に関する内容は、教養教育(Liberal Arts Education)において学ぶ内容を意識し作成されており、出題される内容はアメリカの大学1年生が教養教育課程において学ぶ下記のような分野のテキストから抽出された内容が主として反映されている  
「人文科学」、「言語学」、「外国語」、「芸術」、「哲学」、「数学」、「心理学」、「宗教学」  
「社会科学(社会学・経済学等)」、「自然科学(化学、生物、天文学等)」  
・暗記した内容をもって問題に取り組むのではなく、思考力(例:初めて見る情報を読み要旨を読み取るような力)、表現力(例:スピーキング、ライティングにおいて、質問の内容に対して明確に説明する力)が問われる

＝英語の試験であると同時に、他教科の学習にも関連する(合教科・科目型)

「TOEFLへむけて準備するためには、他教科についてもよく学習する必要がある」  
大阪府立和泉高等学校 磯田喜一先生より

# TOEFL iBT® と CEFRとの相関

テスト セクション	トータルスコア スケールレンジ	ミニマムスコア			
		A2	B1	B2	C1
トータル	0 - 120		42	72	95
リーディング	0 - 30		4	18	24
リスニング	0 - 30		9	17	22
スピーキング	0 - 30	10	16	20	25
ライティング	0 - 30	7	13	17	24

# TOEFL iBT®と CEFRとの関連

- ・ CEFRに関するResearch Report  
TOEFL iBT Research Report TOEFL iBT 06-June 2008  
Linking English Language Test Scores Onto the Common European  
Framework of Reference

<http://www.ets.org/Media/Research/pdf/RR-08-34.pdf>

- ・ 新たなResearch Report  
2015年3月から4月にかけて公開予定

## TOEFL iBT® 受験者の評価・フィードバックとCEFRのレベル

例:スピーキングセクション:キャンパス内の生活を想定した設問に対して

受験者の評価が LIMITEDの場合	
点数の範囲 (スピーキング全体)	11点-15点
CEFRの該当する範囲	A2
評価表における 平均値	1.5 - 2.0

### スピーキングの評価表(Rubric)

- 1点: 受験者の返答は一貫性に欠けていて、設問に対しての関連は非常に少ない
- 2点: 受験者の返答は設問に答えている しかし記述の不正確さや言及していない点がある

受験者にフィードバックとして与えられる情報 : LIMITEDの場合(スコアカードに表示)

Your responses indicate that you have some difficulty speaking in English about information from conversations, newspaper articles, university publications and so on. While you are able to talk about some of the key information from these sources, limited grammar and vocabulary may prevent you from fully expressing your ideas. Problems with pronunciation make it difficult for listeners to understand you at times.

あなたの解答は会話・新聞記事・大学の刊行物などからの情報について英語で述べることに難しさがあることを示している。これらの情報源からいくつかの主要な情報について述べることはできるが、語彙・文法が限られていることにより、考えを一貫して説明することが困難である。また発音の問題によって、時折、聞き手が理解できないこともある。

# TOEFL iBT®と 学習指導要領に関して

## ・指導要領との共通項/キーワード

高校指導要領 外国語編 英語編 (第1章 第1節 2改定の趣旨 より抜粋)

4技能の総合的育成、統合的な活動、社会科や理科など他教科で学習する内容、科学技術や自然に関する内容、コミュニケーションへの関心、意欲、態度の育成、音声を中心にコミュニケーションを図る、必要な情報や考えを聞いたり、話したりすることができる、論理的思考、複雑な文章構造を用いて正確に内容的にまとまりのある多様な文章が書ける、ICTなどを指導上有効に活用する、



## TOEFL iBT

4技能を同時に測定、複合技能型の問題を含む、教養科目を中心とした様々な題材(理系の問題も多く含まれる)、ノートをとる技術、4技能中3技能の測定にリスニングを含む、問題の大意を理解し要約させる問題、ライティングで最も高い評価5の指標(若干の文法エラーはあるが、例示、説明、接続が明快で、趣旨の一環した文章であること等)、コンピューター使用のテスト

# TOEFL iBT®

## 日本の学習者はどう取り組むか

### ① 大阪府立市岡高等学校における実践例

平成26年11月14日研究授業(1年生対象、コミュニケーション英語 I)

授業者 柿本早紀先生

- ・目標:「・・・環境や科学などの話題を通じて国際的な視野を広げる」「個人・ペア・グループなどの活動に主体的に取り組む」
- ・評価基準:重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる(外国語理解の能力)

授業の展開・・・テキストを見ずに初めて聞く音声でメモをとる試み、全体の内容を把握する過程でペアワークでの協力、活発な挙手や発言がなされながら授業が進行

研究授業終了後の他校の先生方からの講評・・・

各技能がバランスよく取り上げられている、ペアワークなどコミュニケーションが活発に行われている、主体的な学習をすすめようという生徒の姿勢がすばらしい、集中した授業態度が良かった 等

「今後、生徒にはTOEFLにチャレンジできるだけの英語力をつけさせたい」

(市岡高校 研究授業担当 柿本先生より)

## 日本の学習者はどう取り組むか

### ②TOEFL iBT語彙に関する分析(東京電機大学 金子雅也先生)

TOEFL iBT の内容と学習指導要領を関連付けるという観点から、指導要領で求められている「3,000語」でTOEFL iBTリーディングセクション、リスニングセクションの語彙をどの程度カバーできるかについて分析された(以下リサーチの結果とコメントを抜粋)

#### 結果

TOEFLテストはアメリカの団体で作成されたテストであるので、アメリカ英語を含んだコーパスで分析するのがより妥当と考え、アメリカ英語最大(4億5千語)のコーパスであるCOCAを用いた語彙リストであるBNC/COCA word-family lists(Nation, 2012)による分析結果

- ・TOEFL iBTリーディングセクション→BNC/COCA Lists **3,000語で90.45%をカバー 5,000語で95.37%をカバー**
- ・TOEFL iBTRリスニングセクション→BNC/COCA Lists **3,000語で96.22%をカバー**

(TOEFL iBT の問題:過去に実際に使用された問題5セットを分析に使用)

#### 結論

Hu & Nationの研究(2000、8か国66人の被験者)において、文中の90%をカバーした場合、読解試験の平均点が67%という結果が得られている。Schmittらの研究(2011、8か国980人の被験者)では90%のカバー率で読解試験の平均スコアが50.5%という結果が得られている。また、リスニングについてはVan Zeeland & Schmitt(2013)の研究において95%のカバー率で76.5%の正答率を得ている。従って目標スコアが満点の50%程度であれば、指導要領が求めている3,000語で、リーディング・リスニングセクションについては十分に対応できると考えられる。

#### TOEFLテストにおけるconnected speech (またはreduced form, sandhi-variation)の使用

生活の中で使用されるインフォーマルな英語には、「wanna」や「gonna」、「How'd」などの音の連結が見られる。対象年齢に関わらずアメリカのテレビ番組や映画ではconnected speechが頻出し、ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの会話を聞き取る上でこのような音の変化に慣れることは非常に重要だが、TOEFL iBTにはそういった内容が含まれているので、その点からも推奨できる(金子先生)

15

## 日本における取り組み

### 高等学校

#### ・大阪府における取り組み

- 「実践的英語教育強化事業」(平成23年)
- 「TOEFL iBTチャレンジ支援事業」(平成25年)
- 「骨太の英語力養成事業」(平成26年)

#### ・熊本県における取り組み

- 熊本時習館構想 海外チャレンジ塾

#### ・国内高校の自発的取組:TOEFLアライアンス



### 高等学校

- 岐阜県教育委員会

グローバル・コミュニケーション能力育成支援事業（2013年）  
事業内容（抜粋）

外部検定試験を実施することにより、本県生徒の実践的な英語力の育成状況や、他国の生徒と比較した英語力、本県の英語教育の課題等を把握・分析し、第2次教育ビジョンの検討に活用する

#### 実施内容

国際的なリーダー人材の育成を目指す高校4校（岐阜高校・大垣北高校・斐太高校・岐阜商業高校）の各40名にTOEFL ITPテストを実施

### 大学

- 平成24年度グローバル人材育成推進事業（次ページ参照）

採択校 17大学がTOEFL iBTでのスコア設定に言及

- 平成26年度スーパーグローバル大学事業（次ページ参照）

- 個別利用事例：入試、学部における採用事例

→2012年、日本におけるTOEFL iBTスコア利用実態に関する調査を実施。  
全国481の国公私立大学にてスコアの利用実績有（入試・単位認定）

## 日本における取り組み

大学	利用目的	文科省採択状況
中央大学	短期集中英語講座 (TOEFL iBT集中講座) の一環として実施	・グローバル人材育成推進事業
東京工業大学	「グローバル理工人材育成コース」英語力・コミュニケーション力強化プログラムの一環として実施	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学
法政大学	全学展開英語強化プログラム (ERP) の一環として実施	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学
お茶の水女子大学	「ACT (Advanced Communication Training) プログラム」の一環として実施	・グローバル人材育成推進事業
創価大学	国際教養学部 (平成26年度開設) のカリキュラムの一環	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学
東京医科歯科大学	「TOEFL集中特訓コース」の一環として実施	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学
千葉大学	英語能力試験対策6ヶ月プログラム (平成26年度開設) の一環	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学
東京大学	公共政策大学院 入学者選抜における外国語審査として (受験必須)	・グローバル30 ・スーパーグローバル大学
東洋大学	国際地域学部におけるグローバル人材育成プログラムの一環として	・グローバル人材育成推進事業 ・スーパーグローバル大学

## 受験料の割引について

TOEFL iBT (受験料: US\$230) について団体申込等での受験割引制度は現在のところ行っていない。

※ TOEFL iBTにおける日本での割引制度は以下の制度のみ

- ・ 英語教員対象特別受験制度 (小・中・高)  
(受験料: 19,500円 正規料金から25%相当を割引)

[http://www.toefl-ibt.jp/toefl\\_ibt\\_forteachers/](http://www.toefl-ibt.jp/toefl_ibt_forteachers/)

※ 本制度は英語教員個人での申込以外に、教育委員会を通じての申込みも受付可。

# TOEFL iBT®における 団体受験システム

特定の団体単位でTOEFL iBTを実施する対応は行われていないが、学校機関がTOEFL iBTの試験会場になっている場合、自校の学生・生徒は優先的に受験させることができる。

下記フォームを試験会場の担当者が入力、取りまとめて試験予約センターであるプロメトリック株式会社へ提出。

[http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/toefl\\_ibt\\_bulk\\_registration\\_roster.pdf](http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/toefl_ibt_bulk_registration_roster.pdf)

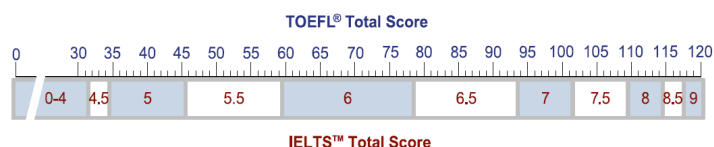
## 他試験との相関性

ETSによって調査実施・公表されている他試験との比較は、IELTS（アカデミックモジュール）テストのみ。内容はETS Website上に掲載。

- \* TOEFL iBTおよびIELTSを受験した1,153名のデータをもとに作成
- \* ETS 各テスト間の各試験スコア比較データも現時点では無し

### ・ ETS Website

<http://www.ets.org/toefl/institutions/scores/compare/>



### ・ ETS作成資料

Linking TOEFL iBT™ Scores to IELTS® Scores A Research Report

[http://www.ets.org/s/toefl/pdf/linking\\_toefl\\_ibt\\_scores\\_to\\_ielts\\_scores.pdf](http://www.ets.org/s/toefl/pdf/linking_toefl_ibt_scores_to_ielts_scores.pdf)

Supplementary Comparison Tables for TOEFL iBT® Section Scores

[http://www.ets.org/s/toefl/pdf/supplementary\\_comparison\\_tables.pdf](http://www.ets.org/s/toefl/pdf/supplementary_comparison_tables.pdf)

# 今後に向けて（ETSより）

- 受験料の割引に関して：  
今後の受験者数拡大、及び試験会場設定の際に支援等が得られるのであれば、検討できる
- 試験会場に関して：  
現在30都道府県に試験会場があり、現在の座席数で年間の受験者はほぼまかなえている。今後受験者が拡大した場合には、全ての都道府県で会場を設定することを検討する



国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部  
TOEFL事業部

T E L 03-5467-5477

E m a i l [ctas@cieej.or.jp](mailto:ctas@cieej.or.jp)

W e b <http://www.cieej.or.jp>